

製品名: ATP1B1 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe84180

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.61mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW: 35 kDa ; Observed MW: 40-50 kDa

抗原情報

遺伝子名	ATP1B1
別名	Adenosinetriphosphatase; ATP1B; ATP1B1; Atpb 1; ATPBS;;ATP1B1
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P05026
免疫原	ヒト ATP1B1 由来の合成ペプチド

背景

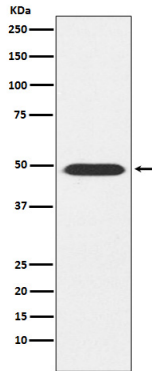
これは活性酵素の非触媒成分であり、ATP の加水分解と細胞膜を介した Na⁺および K⁺イオンの交換を触媒します。β サブユニット

は、 α/β ヘテロ二量体の集合を介して、細胞膜へ輸送されるナトリウムポンプの数を制御します。

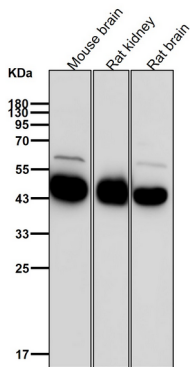
研究分野

-

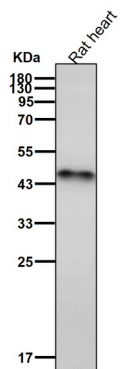
画像データ



マウス脳溶解物中の ATP1B1 発現のウェスタンブロット分析。



すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。